



10周年記念誌

10th anniversary magazine

特定非営利活動法人
どリーまあサービス

目次

ごあいさつ	理事長 山口 浩 志	
祝 辞		
祝 辞	徳島県知事 飯 泉 嘉 門	1
どりーまあサービス10周年を記念して	徳島県議会議員 長 尾 哲 見	2
設立10周年を祝して	徳島市長 原 秀 樹	3
創立10周年を祝して	美馬市長 牧 田 久	4
10周年に寄せて	日本赤十字社徳島県支部事務局長 鎌 田 啓 三	5
顧問の方々からのメッセージ		7
「息の長い活動を願って」	弁護士 松 原 健士郎	9
創立10周年に寄せて	公認会計士 原 孝 仁	10
どりーまあサービス設立10周年に期待すること		
	社会保険労務士 森 本 和 彦	11
祝、「どりーまあサービス」10周年	臨床心理士 島 治 伸	12
沿革・あゆみ		13
組織体制		31
各分野の関係者の方々からのメッセージ		35
NPOの力		
徳島緩和ケア研究会 代表世話人(徳島大学 医療教育開発センター)	寺 嶋 吉 保	37
生きることの未来を「どりーまあサービス」から学ぶ		
	徳島大学総合科学部 准教授 樫 田 美 雄	38
10周年に寄せて	徳島県介護支援専門員協会 理事長 大 塚 智 子	39
10周年記念に寄せて	株式会社地域サービス 代表取締役 永 井 英 彰	40

生きることの未来を「どりーまあサービス」から学ぶ

徳島大学総合科学部

准教授 榎田 美雄



「どりーまあサービス」設立10周年おめでとうございます。理事長の山口浩志さんには徳島大学の「ボランティア論」の授業の四分の1を毎年担当してもらっています。この小文では、山口さんの授業の意義を、授業統括者としてご紹介致したく思います。

本学のボランティア論は、単なる「ボランティアの勧め」ではありません。ボランティアについて考えることを通して社会や時代を考えることを目的としたものです。この目的の多くの部分が山口さんの授業を通して達成されています。たとえば、私が山口さんの授業を見学したときに、マッチングゲームが行われていました。このゲームはサービスの提供役の学生が「できること」をカードに書き、被提供役の学生が「して欲しいこと」をカードに書いて、その後で、それらのカードを組み合わせることで、サービスのマッチングというものが、5人程度の小集団では困難であること、50人程度以上の大集団になると容易になることを学ぶ室内ゲームですが、結論部分で山口さんは、ボランティアにコーディネート業務が必須であることを指摘するだけでなく、「サービスを頼む側の気後れも感じてほしい。それが大事だ。」とおっしゃっていました。私は、本当にそうだ、学生はこうやって社会関係というものを学ばなければならない、と感動しました。

労働生産性が上がり、長寿が当たり前の世の中になって、労働というものがおそらくは人生の活動の3分の1程度でしかないことがわかってきた今、そして、子育ての20年が人生90年の4分の1以下でしかないことがはっきりしてきた今、私たちは、自分自身の力で「生きるの意味」を探す必要があります。もはや「会社」にも「家族」にも「生きる意味の充実」を頼ることはできないのです。つまり、現代社会では「(NPO活動を含めた) ボランティア活動」は「生きる意味」を供給する重要な人間の活動の一つになってきています。「自発的な(ボランティアな)活動」を10年間継続してきていらっしゃる山口さんの言葉は、徳大生に「生きるの意味の欠落という未来的課題にどう対処したらよいか」を考えさせる貴重なものになっています。「どりーまあサービス」の活動のますますの発展を祈念しております。

特 定 非 営 利 活 動 法 人
ど り ま あ サ ー ビ ス
10 周 年 記 念 誌

平成19年12月印刷発行

編集・発行 特定非営利活動法人
どりーまあサービス
〒770-0855
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
E-mail: npo@dreamer-service.org

印刷所 株式会社 教育出版センター
徳島市川内町平石流通団地27
TEL 088-665-6060
